



各位

2024年2月14日

会社名 スパイダープラス株式会社
代表者名 代表取締役社長 伊藤 謙自
(証券コード：4192、グロース市場)
問い合わせ先 取締役執行役員CFO 藤原 悠
(電話番号：03-6709-2834)

通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2023年2月13日に公表いたしました2023年12月期通期の業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本開示は2023年12月期の営業利益、経常利益及び当期純利益の実績値が業績予想を上回り、業績予想との差異が開示基準に該当したことによる開示であります。

1. 通期業績予想との差異について (2023年12月期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,302	百万円 △698	百万円 △732	百万円 △739	円 銭 -
当期実績 (B)	3,194	△442	△452	△463	△13.32
増減額 (B-A)	△108	256	280	276	-
増減率 (%)	△3.3%	-	-	-	-
参考：前期実績 (2022年12月期)	2,479	△1,142	△1,161	△1,036	△30.73

2. 差異の発生理由

当社は、2024年4月から建設業界に「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」が適用されることから、建設業界の生産性向上に対する取り組みが2024年以降加速し、それに伴い建設DX市場も拡大すると考えております。当社は、拡大が見込まれる需要を確実に取り込むために、2021年12月期から2024年12月期までを先行投資期間と位置づけ、需要拡大に備えた事業基盤を構築してまいりました。

このような事業環境において、2023年12月期は先行投資と合わせて早期の黒字化を見据えた組織の生産性向上にも取り組むことで売上高成長と収益性改善の両立を実現しました。

売上高については成長率が加速した一方で上期のストック収入積み上げ不足を要因として、業績予想を下回る結果となりましたが、生産性向上施策を進めるなかで採用戦略の見直しやマーケティング投資の精査等を行った結果、収益性が想定以上に向上し、営業利益、経常利益及び当期純利益の実績値は業績予想を上回りました。

通期の業績の詳細については本日公表の「決算短信」及び「決算説明資料」を併せてご参照下さい。

以上